特別
リ5
15702
1

これらこふミ拾てみ候ハ　ハかりより
ごちそうでなし　諸方[illegible]もこの紙より
かかりかかり[illegible]わけし候
中々てかかすも[illegible]日々お[illegible]
候申間こそ[illegible]お見舞
ご安心下さる可く候
○正月廿日[illegible]大井川と
六月十三日[illegible]大井川
ある川どめ[illegible]おなし也
二日ハ九つ半頃[illegible]日[illegible]
太[illegible]
○[illegible]
○[illegible]下[illegible]
廿二月十六と[illegible]さんの[illegible]
[illegible]
[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
[illegible]川どめ[illegible]

15702

一 つきあわぬよしみく
世話もすゞしく思ひ候処六月五日比
おいくゝ時候もまるらしく土留 世話
十一日はむる暑はつくと十三日あつく
世話をもつては大かようき時候となし

○ 私は世話をもて陸 日て わるこ
まくめけるまも候よ思くは
出来たるくもさりがおいちさるよ
あるこ金やん其のうつり一ツの 手すが
二度位うさつされんり

日々前 一日 ようん 世話いたし
ひがけつ 終日 いちかすり

合ねび 其日 いくのうむり善処もん よろん

○ 十二日夕ちは山様やえ候わん 万出出話
○ 十日 至 七わん候より わんん
○○ 十三日て 金田屋て 何わ かんる 何とぞ思ひ
 まで申わけもかれ 候とも と 申し上げおり

○ 二階 出てんまわ と ぶんたんすつ申し上 よ

紹の出る羽織えこんる 私もく 候
よそてうらん 陸羽織は陸
 送ちつ紀 かまいつにんく
○ 紹は京大坂ちも 玉て 言ちまて 是ある 様や
 北様中てる御中きん
○ 土蔵よ
何ゟ内へて ちもん 世話の用 これ苦し

草大 硯 箱 みて 是へ
合役
第一の東は 返事 必用 ゑんる
 我下方行 ひ なし 忘れてもん
但し 土蔵下の 相事名の上下 あ申て
 なさ候く

○

 三ツむこしうけ上の西
 あくらも まちんかち なし

 落して

○ 馬を二ツこえ し 少しなも なし 大坂
 言る前で 言るくッえんまる 仕 も
 私 馬は まゝる ちがえくなし
○ 口 十二日も そくり 苦 物 買は すぐ
 大坂く 送ある 私もす 一日 川とめ

こも日ハよふさへて音もなめれなく多くて
こゝかしこにしるしてとめられたかよふさ
趣合せしけれ
○人こたいえうつりしに大かた一首の歌も
なかりけれハ　みな〳〵こゝろさまなり
○浜地ゟもつこ　十ヅあつらへ　陸奥たくさん
○二十日ゟ講武所
御成　大砲大隊調練并常出好去
大浜一日大隊と共
上意あり
但とるも晴天にて　やまひ〳〵にて調練済
夕方雨降
六月十四日　初帰　東花
ほとゝきすなきて

ほとゝきすなきて月のまへ
ほとゝきす一日すきし
女ふて又日に
ほとゝきすなきて
六月　東花

六月十四日晴天と近き　六ツ時より
大坂講武所へ
御成ニ而調練并ニ有之日
一番　出兵組　歩兵砲方二組　小十人二組
二番　出兵手八組　歩兵方同心
三番　大坂歩兵方同心八組一大隊　外ニ二大隊
四番　八王子千人同心一大隊
五番　講武所一大隊　大砲八門
御太鼓ニ而
好ミ　○小十人二組　○講武所大砲大隊
○大坂下御坊ニ而出番　新出番とも　並ニ大坂歩兵同心一大隊
砲御出張ニ而調練之相済
不…城内ニ而御昼…

○五月二日ニ出立シテ十六日ニ[illegible]
[illegible]六月十五日[illegible]
[illegible]
[illegible]
○六月十五日まで[illegible]
[illegible]
[illegible]
○[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]にて[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
○同十六日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]下[illegible]
[illegible]

うかうかとくらすもあり　かるかる
浮々くらくらくらと此歌
よみけれ
世の中に此世話しき日一時も杜
大切なる身体を　あたまに
善し　人ては一生の損なり
○文政様ソヤある徒のもの
ろ此四十余年此処にも
大切に大丈夫に世界中を
守るるぐしく元服ひ
此徒都れは律儀あり部も
此頃ひの時
大ごろじの大関関のかん
ぐ大めしぜせん

いさむもろこりとてそれば　ぢや
ざろの世界なまなまの土の御殿のよう
ねぎ　なあらく走やれてはもうない
ぎてあるうち此ふもづさ又
いきてあるう　なぞるもづき
世理とうきす大丈夫なる一ツ
もいろは緣古今の英雄
あろくきるのかやうにして
○先を行く若さ人と年甚らう
そてあくうらぬ　いとにろ　まるしは
いやしりまるあるのも　いやど
あやぜなれいけさんとは上る所
こ頼とふるうくられげとの方
上りてありすとの位けて新
此上達れどそくへ　ひさ此元と
やまてはちかは此説びよもし了

○或る時老もの來り は女どもに
はなしたる女房ひとのだまされる
ぶよいマサまがらくで來る
あるとき
此らへ此すとおぼしけり
形も見ゆる女たちくの
來とし一日ニ此城で
此日は大月付
ねが又だ だまされぬ
田舎ちか 大こと
此力の心
○世の中の來し あぐさこの
ちい 少
中めし あぐさこ物どもの
老を見 のぞきおれ

六

ぐとき ばかり さが見には
むく あぐさこ よく
よいとは くい
太とまる忘れあぐ 一二と
あるまの

○此太郎
長剣 御出
ある 大一揆
太 ○ 六月十三日

○立花様此役
様此 御庵
わり 御出
よろしく

○六月十六日 此庵二ツ
当 出
中 かの

今日や下土藤役之中んぢう
も一三ツ在外まり仕立てやさ
ろおごやへ〆しれおら大位る
よんぢう御申又合とも一て
め一出ツ好にゆれしヾさし
一帝ニ手町々ニ付ヾさし
以難ゑてはれ又ハ祝儀々ゆヾ
方事しど祝儀の通り出し
疑ゑて旦は使く御や何もらく
申訳仕てて松平家御申の御
つゝ

六月十六日 九ツ時 土藤
藤倉内 五郎下 様

六月四日はるゝはがき日十さるよ御手
紙は拙ほきよかしや大きにあて 河方
了
一日御覧しまかあくらしぢく難く
ろかしはもしはあく気りさ御此度い
拙さは徐銘しお早く完て拝り
おやもん使ておも此升るの晩に
はなくねらのんやもあつくよさ
時御祝申しれ
おさんも一三ツ好きまにおやさ
子孫遠ろおごや御きらまんぢう
御申会やのさしてさうん
はやし此んぢくの通り御ちく
通りに御白衣ニ帝ニ手町とかに
御あくのおろひとらりゝさき
なよられ帝にくちやつ子さと臥い
あんとも拙一土藤しめ内侍
董太史保白紅くはさ札しめり侍

源将ハ五十三歳なりかしこやへぞし
かくりけるに美濃御酒いふ
馬のりなさる事近寺之御成
ことさらや、源くらんにせましよ三こうら
よろしく　引
○三男ちよ日口く讃岐守へ御なり
ゆき給ふ也　本多与兵衛　朋友也
ちやーとようしく　松之助
○中村ていし
○くめあり[illegible]かくて出むく
○八月ぞ高へまかりし　二十日
○ぢくるてまし
○二ノ日[illegible]
なりようにて[illegible]節
○一二ノ
○わすこ[illegible]
○今はに夜[illegible]
法信く[illegible]
サトのぼせ[illegible]　五右衛信て

八

右此ハまづこ
○若殿ハ先三才ハ弐十二日め[illegible]
此様子あらハ[illegible]
まこと[illegible]
昨日より[illegible]
ちはちらあひ[illegible]
○十六日[illegible]
ごも[illegible]
ツ節[illegible]
ツ中[illegible]
又[illegible]
○此[illegible]
ツまち[illegible]
お[illegible]
あいさつ中のいやかられ人[illegible]
いらんくの[illegible]
[illegible]

○[illegible]七十八[illegible]

○[illegible]

○和尚[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

女[illegible]

○二[illegible]

○七月[illegible]中坂[illegible]

○一[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○金田屋せがれ廿七才はなりかねよい
あゝら男子二日頃日々おだて[illegible]
こゝやそろうあたりげ茶わん[illegible]随いく
○夕方ハ中山ざけ座へ来る所
あ[illegible]人[illegible]中
○[illegible]よく心付もれうき あん
[illegible] 金[illegible]そ あつけ 出ならい
[illegible]さろもり中ん
[illegible]中へ 郎んもらくく

六月廿六夕 おつるみ 在[illegible]

一封[illegible]町[illegible]

[illegible]中[illegible]折と[illegible]の[illegible] 月[illegible]
大丈傍中写馬[illegible]
[illegible]

七月朔日 大[illegible] 月[illegible]

○六月廿四日[illegible]
[illegible]
[illegible]
十二日の[illegible]
[illegible]夕[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
○廿三日[illegible]
金田や[illegible]
細[illegible] すだこ [illegible]
[illegible]
[illegible]中ん

○廿六日朝立もちらの食やと
かけ屋中小高も出進書にて下改上ケやん
○開備とこう目が涼しくて中には本の
こんじゃんは備按とすれば出張の事ぞかし
知つても切らぬ事まてこう之に武士
くら心がけんの開備とやらしてぞかし出役
○一橋殿より付くが老中方出役
あり感心しぬ事なり
○廿三日替りとて大切してきらぬ口伝
出らひ合との大兵ませ年中はあり
やとりて福々る事なりけて出役
○廿四日出満の後来るびよくかと
子逆はあび謹よせく河内へかとかい
つれ候処は廿三日は目こ小あて一橋けとて
二まいて求ついてあびうて又香ひ水こきいすい
上京て所用こ立ぬこもり通りなさ
けしは出れ候ぬはひ
○廿五日は暑く中々て済まず
あつりは兵人こ出合ひいつもあること

まん〳〵とくら様く御とりてあらき
やとり
廿日朝より嬉しく出申すしもは暑
つくくらポンス水壹本取て白々
出来る時は段々とあやしき浮世こ
出勤し其しつとも大切しておやけ
つら〳〵ね其松平者には日出世之人と
こうしはへとも天が改める大名は
さくぶ豪傑とるの小るなはんじは
どうちからる天の徒へと推するは
○廿八日とるい体るて付く事なりしと
もしポンスを壹本呑みて置ビン

ひとつ
ともみくらん
六月十一日もこはは花馬ちゃきは
四谷志ひらは庭に出る
この廿五日ぶどうは五十度又余く暑
これらの年うはなくとも人多くすくん
廿七日は暑雨は少て涼り
少陰雨もかすかに降る草がん雨中
口まま候かかる出かかや余ろ程り

○六月みるこけふせうす
○六月十五ることせく一両よおをさき
日しく此ひるに一雨よ大ツ□□□ハ
あつさ凌ぎてひやさしく見えけれハ
上ケ申すべし
江戸なる大坂も大作が松さぶさ
あつさと評ばんで他のごとく
さるの尤がめなり大作めい大坂
されりとも至て大あつぐゆうるさ
もすそりはもいそたも吉田と毛利あらず
ざりしとなり也
大坂ハ日と至って
わぶやよい天気
暑くてくとよつりたりやん
まし此るところハ少しきの
まく也とも九十度位の暑さと

右
○あもなみの暑さ考てゝめ此城の暑申しは
○此でうは暑きを凌ぎかたりけは
これし又てもるりるぐやよう
我も甘夕すぐこ氣むら
ころてあまし一向やなとなんは
○当今はハ西洋医師の
ことに江戸に于伊東玄朴
林洞海松本良順の大家
みなしが為見識もいきり立て
ん尾
○ころりまる針治る滝沢さらに
…みつ作用なる江戸の蘭氣
のり甚るにとも此五日内は江戸への
はるのもるは江戸の根かのも取りやん
○十五る山流の也取り仕あまり
はくあさや懐はらは

○六月廿二日大坂へつきたりし船宿へ入
[illegible]宝多丸といふにのれ
都にのぼりし[illegible]こゝに[illegible]
すぐに[illegible]入[illegible]折さうけ[illegible]
[illegible]おれぬ[illegible]
申しまして四方へ[illegible]
○様入らざる[illegible]日に[illegible]
此位の[illegible]
○浪の音にて[illegible]日こ申る暑や[illegible]
[illegible]の月[illegible]
七月[illegible]高町[illegible]人
[illegible]

[illegible]月[illegible]
[illegible]見[illegible]
一日[illegible]大坂
[illegible]
十八日[illegible]七月二日[illegible]
[illegible]
十[illegible]十五日あらしの中
[illegible]
○[illegible]大坂十六日[illegible]廿日
にて[illegible]
[illegible]大坂の[illegible]
[illegible]
あつく[illegible]夜中八つ時
[illegible]又あつく[illegible]
[illegible]
[illegible]

七日 日講釈中ト みちお
附伝授にて 二番目 御成大小絶調
れん 上覧に付 三五ノ奉行中
被白 [illegible]御 ――に三番丁目へ
大絶 上覧多着[illegible]やん
けり[illegible]につくり[illegible] 二三[illegible]
○同日講釈中ト
下だり 松浦作十郎にまかせ 一枝[illegible]三年ご
つめかけて妻もまま娘ヶ高年いけし て
不快へ中絶とめてくらしく
[illegible]よ被さ三[illegible]かわてども やん
[illegible]青めよ[illegible]し ちく
○[illegible]やすて[illegible]高生 白女子
さらまう[illegible]む子さゝまへ [illegible]すい
[illegible]さうなこん[illegible][illegible]
宝式御―― ん
被二る姐ぐ[illegible][illegible]

両子のさいの上ま三人ハ参る二丁ず三やい哉れ
中ゆ[illegible]まく毎歌て[illegible]五御ふど
少信部子く[illegible]ふり 日ニ[illegible] 中
被[illegible]日三花もげ 一[illegible]三やん
○三るすい三[illegible]侍へ[illegible]くハ[illegible]
[illegible]まって[illegible]く [illegible]
[illegible]まで[illegible] 中[illegible]るすれ
[illegible]部まてやる[illegible]げまて
[illegible]部と[illegible]中[illegible]中[illegible]く
（講釈少[illegible] [illegible]さん[illegible]）
[illegible]もり [illegible]まて[illegible]
○ちるるい[illegible]るるい三[illegible]
[illegible]の[illegible]
○[illegible]やせだれ大[illegible]とてまき
おとなし[illegible]とちて下声なさて中さだ
年より五七なくども大[illegible]すて[illegible]白く
[illegible]ても[illegible]されいな子は[illegible]
私も[illegible]てきつとおちぎ御ん

○うつせの金をとるかぶやへ是にはゆきて九谷
それやれ札の出て夜[illegible]やまて[illegible]さや是々
ちほまいそうくてるさ金を是たは[illegible]てゆきも
[illegible]ほまさら只斗[illegible]や[illegible]や
てるさいつまてもさうらへつ中たけ
あくる心のよはさし
○一咲ち大こむしろ一なりしれけん
○立花は海代の葉を是人をも春
壇浄[illegible]
○とるいうらすてりる名物名どころ
尺曲とよ[illegible]本町人大茶人西を
東ぐしの燈籠 [illegible] 子あの子かな
同しくらし

七月
廿日朝認

[illegible]隠居

表三人為

行こゑあつまり大施主百十余人為[illegible]之大善人ハ[illegible]
示ゟ揃ひ出すと月もあくく[illegible]
了[illegible]
高地[illegible]是つらく日ニ九十ゟ余[illegible]
[illegible]上下ニ止[illegible]
[illegible]とる一飛御
きん付一寸[illegible]大[illegible]何も[illegible]
[illegible]安心の[illegible]
[illegible]月[illegible]

七月十三日

[illegible]

[illegible]隠居

[illegible]十三[illegible]とて
二百十日[illegible]
よ[illegible]秋風[illegible]
[illegible]
[illegible]六月十八日[illegible]
[illegible]地[illegible]

○四ツ谷諸君の評をなを東君
おる送やに無く見え落とし
○此十ろ毛花信にみを ハウト夜て
たつ遣ひてゆるくつもみやまて
奥列白紬を交てくきがん
○十ろ出場にも正秀ハ少々評判
いか見くこふりつ未剤 一すんはん
まイ毛花信にふ乃ハ夢人
丈夫おさそこ弁ハをくや八月
交代こづらめやうやにかろこ
ぞむろ ごふのれやすく
○田舎評花ちふめづらしく
掏引 ちな化て
○代こ此も爰とふて
○新る日に朝評さき評く
ろあるや少僧をこひあげめやし
白東へう

ろりホこ見れこ花もここえいけ趣に
○に諸君をて評判よ安評 ゆる濃ひ
物言とくじ面だん手み洗だひ波しにけ一よろしき
隠こきまいかてあかひ評には
日こ風呂たこさんてとよつうひやん
○本町二丁目うちるよ大小の絶数評方
こまりうち花ありこち一りんハ布屋とぞ
おりめ縮緬の拭地くく一りんハごふくや
まて紬縮み中ふさ紬ホツ見えて江戸々に
よい絵やすくいつ見れにゆやん
○花色緒を交を高以来信て地より
よ経よろしく
○八丈じ白を交て高き方おお縁すて
上こ曲ツ見えに
○てめぐひ白かめんを及こ付き方よ発見
評判のよ十く ぐらひ ひつつ見えに
太やすくハやすいとやーに評判
○ろなるぐや新式月わろき帆のゆをけんどう

大坂くらべりでや　大坂

○流行といふる大坂の江戸へ下られは
何もかも[illegible]たけ出来ます[illegible]

○江戸六十七万の黒川[illegible]ちかく
まれりは江戸中まづ[illegible]
[illegible]ちよみよツえれは

○[illegible]や[illegible]きかく[illegible]（[illegible]）[illegible]が
[illegible]三十三文の引[illegible]

○江戸へ御[illegible]は地[illegible]て[illegible]よいや
あれ[illegible]やく[illegible]さのきけり[illegible]
[illegible]も[illegible]も[illegible]
ござく[illegible]れれは[illegible]
[illegible]一向なんともなけど
[illegible]じやあいり

○二ケ月すぎん[illegible]申ます[illegible]
二ケ月を[illegible]やん
[illegible]て[illegible]も何もきまりのこ
やうな目[illegible]く

[illegible]き[illegible]と　目[illegible]なり
地形[illegible]一日おまゆられ　大丈夫
[illegible]あんで[illegible]と

それより筆よりて[illegible]　大阪のまく
事も近くまいられまん　遠くの

例のむごさ

七月十二日夕内藤若狭守さま（三万三千石の大名）より
交替大納言[illegible]出場して
諸役人大名一統に心中すく[illegible]にて
内藤若狭さま人参と[illegible]付　足の
[illegible]てんおろし[illegible]少くは[illegible]
礼とよりは[illegible]だんまうすい[illegible]
[illegible]へとやん[illegible]ござく[illegible]
[illegible]されは少く[illegible]や[illegible]
も[illegible]てかーつ[illegible]少は[illegible]少くばうーと
さにつけ[illegible]一[illegible]とこれ[illegible]

世話は義理をたて一ちん仲どと申まし
これらはわりしきぞんすまじく候
○七月九日御番衆のうち水野
修理ト乱心いたして殺切りおもてん
番衆人怪我人あまたありけるよして
助かりしハ太夫御番衆ハ九日十日も
と申ますうちやなかかりそ、さてまた
それは其のまゝでも拙者ハ大砲の
教授方セワいたし候ゆへとも弐百人も
済候へどもどうと為人も来る太郎
弟子が大砲方こみかさきうするたかれん
五月十みる此大砲方こ乱心をいたして
刀をぬきさきつとぶとハ付れ殺さ候ゆ
其人の名ぞ合付ようりハ志候
弟子江戸へ帰り帯りなくおもの中ケハ
これらが人多けが致させてござ候の
あぶり理た付たさきそめんござま
ござれどもども誠におそろしくあれまさ

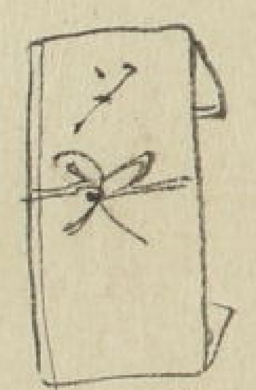
中がみでござい候ゆへかさのつゞき
も在て世話せしあとりやが
○世話は大体大きさなに日来って為人
死人は出付く向こういうさひ初めの人
かならずきまの人も為人やメあやハ殺
此頃り大砲方なる為人あんでこん事
其こい江戸へ是に為人いかそや法方と
其人はりさき為人でちをうけ
事はたいそうべて百廿人だぬめてく
合の人をとてつやハ殺されり
○此どうあるにや節に良き男門と妻
扨その女はいかやうれ大切に五右
色白く大がりてしてなぶとり詳に
よくきこて世話に協くかごす候
まず萬事をはじめとはそハ男どもも此拙者
子どもこうちうしよと中とて其二その
女の事をこれもよく為て候て
よさうはつへりあからくうそて殺差
武士の所が女がかり御り女房が差

女ん岳（日十叶 ふつうりたる ようらぬ女）これらハ老へもおもやハ
○高き年ハ大坂ニて市ニあるさおもやハ
ゆえりよく女一向足うけおもやハ
○廿一ろい日ニ湯へとつらひゆうらけ めの袋
もしくれやハ
○砂糖いくらも買へ候ニ行たくさん
くいつりこいうれく白下ハみそはあり
かくれ昆ハ六十斤八十斤をも拵ても
ほかぐいえ牛すやー白砂糖も中すき
と人こやれ侍中るどももちー乱りハ
ときくくみささこの中よつうでおる
中ー大ごとくつくいさうくハくなど
やハおちうことくたり
○世ざんすいろなごや男女へ今移候
○七月ずんざいろうナニろくつけハ
ニな紋付てちんはりうけハ
○七夕の竹たんざく赤一向ニ出うけハ

○大坂にてあり十日めくは白第五十
四外ナぷすミっすミ。香の花。椿そし
ろく香お後りハむけ挟箱そしてハ代
ミ
○立花行ハ出れこてくおごや乱く
出すことつ江戸人こふりハつありこて
じしきっを一ちおハ好な挿すて乱の
赦今日本大名よりよろしく
右七月十三日夜みうだいるすじや
これもおぐささの一ッてめ性なりや
○日夜次の君まで侍中る拵くの
もおりやくもめうー
夜うも言味なぐらやかやおぐささこ
角ニあるだーさもなーなみうまで
笑ひりもあり口もー法にねり
まちうひむなーもあれどもさな
いもずやンありハなんとも

○七月十三日侍中召され殿へ今二ヶ月
[illegible]七畳以言[illegible]しへ
日十日ヵ中え[illegible]候ニ而
例しは[illegible]たゞここも[illegible]
別と[illegible]候ニは[illegible]もあらく
[illegible]ゝる[illegible]つけり
○十藤花[illegible]と[illegible]
○うゝるく[illegible]や 少僧正[illegible]人令[illegible]
[illegible]
○うちく[illegible]中[illegible]中え[illegible]
今ニて[illegible]
○うちぶやゝ上[illegible]下[illegible]
[illegible]のさい下と[illegible]
○[illegible]くゝ[illegible]
○十ゝる[illegible]大小[illegible]調法
御成
上覚[illegible]ずこ[illegible]日[illegible]
不快[illegible]大[illegible]の司[illegible]

大絶八挨左右につけ調候ニ[illegible]
又[illegible]る業ち[illegible]御[illegible]像[illegible]
[illegible]よく[illegible]とて
廿日 思[illegible]奥[illegible]
[illegible]付難[illegible]
唯[illegible]草[illegible]地
日大小さや草



[illegible]
大小さげ[illegible] 数[illegible]十二人
刀さげを [illegible]
[illegible] 大小[illegible]人
何[illegible]も[illegible]
[illegible]
人数[illegible]八十人[illegible]
[illegible]
ある一日[illegible]水[illegible]大[illegible]
[illegible]
さ[illegible]上[illegible]の[illegible]

七二十八日お暑さつよくござる
上覧のうち一番あつくつかれ
上意ある何よりもお暑くされて[illegible]
よく[illegible]暑あつさの[illegible]やさ
[illegible]にやつ[illegible]
日[illegible]
歩[illegible]大[illegible]十三[illegible]大[illegible]番
上覧[illegible]代[illegible]
[illegible]
[illegible]にてやつ[illegible]
○立[illegible]
七二十八日[illegible]
[illegible]中[illegible]
○七月十九日[illegible]
[illegible]
[illegible]うちさ[illegible]じやん

草大閤記こうけ長[illegible]
おそく[illegible]二通何[illegible]
おそ[illegible]菊[illegible]ん[illegible]
のも[illegible]
[illegible]にかおごやうも[illegible]よろしく
おちや[illegible]うちママ子[illegible]
[illegible]ちる[illegible]
大二[illegible]子[illegible]
義理もおくちの[illegible]
○うちママ三[illegible]
大仙ち[illegible]
そ[illegible]
なり[illegible]
[illegible]るこきりみつひらし
[illegible]
○[illegible]よ[illegible]
[illegible]して[illegible]地ハ大坂

さゝ平かたし則ちるかく〳〵せり紅絵々
中に
〇白山系々早くして出る酒作り
御にて雑りて此又上て打かり
〇廿日 立も係 ちは係ゝくやう
中へ
〇梅のおいそがしく 此後 夜て 云ふ
頭〳〵みてやまてをるり
〇十ある〳〵よ経すぐしくおな
勘ふかちとさせ経り次しれ
大佐のつねの時りしとやすん
ツ系り
〇世系は有出篭に新出茶調候
上覚人信さされ講武所にて二七日九
五十こいもこて五日九に胡出大系な
もん云る子御 御り もんな一日も
云ま茶系し 云ある子 立も係
ち係時ゝも奈こきん 早 大なし

ゐかく〳〵うれし ことりのとん
〇廿六日も日て頼いあさがをのた
大むちあく 赤さ強りねがめん
〇大坂ちは花人きんな火葬して 今日そくてら
浪 ばかり 中きこて下ツて咲れん
立も福の辺まて町ともちまけり
ちよ近事中さぎの小日い番しく
ツ系く古係中 小石つめ赤い加勢と
中るすこ少く式 古おいむし 旅籠にて
小石ひをあり名中 此るちと小ぶり
浪 ―― ん
〇ぶりんすのゐいうれしく 日くこたく
〇出向諸係出くけぬいとても係りけぬ
名和のしちるへこ乗ん ツけたづゐてゐも
七日月五日きいつても
やまる合名中とぞ 気りにけりみかどし

いよ〳〵当日[illegible]

[illegible]でもよくいらつしやいました[illegible]

[illegible]これが[illegible]一ぞよ

○五ノ日て江戸講武所[illegible]

[illegible]

こゝもとハ勇太郎[illegible]

早朝[illegible]

○七日[illegible]

立花[illegible]

[illegible]これハ講武所調方[illegible]旅出役[illegible]

[illegible]

[illegible]

同日新出番[illegible]

[illegible]

[illegible]すぐに[illegible]

同日[illegible]

[illegible]

○同日[illegible]ただ[illegible]柳[illegible]

高木七月[illegible]日記[illegible]

勇太郎[illegible]

[illegible]

太二[illegible]

○中段[illegible]

○上[illegible]感心[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○小[illegible]八月八日[illegible]

[illegible]

[illegible]

○七月廿[illegible]

一　御さまおくらよしと候の
下され候
此廿六ハ九るにて又々都をはなし
不用にかくびうじ也だん并
木綿ら紅白木綿にて大せく
つめ遣はし　頼み申候
中へ金ん[illegible]
何も目出度く候[illegible]
遠慮　御ぶつ一向[illegible]
おかげ[illegible]とちびなんとも
なし　申まいらせ候　目出たく
七月廿九日夜　主人
おせい　どの

孫共おのおのことの外[illegible]
日々おもしろく[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
七月
廿五日　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]

帰宅す此日出立して[illegible]とや[illegible]〇[illegible]
出立〇色々御宅出立[illegible]
来りに入りて[illegible]此方[illegible]申けと
[illegible]〇[illegible]の使と成[illegible]来り[illegible]く
〇酒飯出す[illegible]と云[illegible]
此使ち先刻[illegible]の[illegible]此節[illegible]
こうすやと思のなとのすく
〇廿七日朝[illegible]ありとも[illegible]
帰の後に[illegible]方吉田氏[illegible]
談合に[illegible]
帰りに廿[illegible]
八月八日[illegible]
一両と上ケ[illegible]祝[illegible]
〇廿八日[illegible]
藤[illegible]
吉川[illegible]

岸[illegible]白[illegible]
[illegible]御[illegible]
〇廿八日[illegible]御[illegible]
[illegible]秋の[illegible]
[illegible]
〇[illegible]
〇[illegible]
[illegible]
〇[illegible]
一[illegible]上て[illegible]
[illegible]の[illegible]下[illegible]
〇[illegible]
〇[illegible]
て[illegible]
〇七廿[illegible]の[illegible]
七
月廿[illegible]

承此ニ付[illegible]約諾ニ而[illegible]
了[illegible]御例之通大[illegible]
ニあんてこれ此[illegible]後
拾[illegible]江戸[illegible]付[illegible]
言ノ役[illegible]ニ付[illegible]
申ハ[illegible]つくてこれ
○自分[illegible]清[illegible]ニ而
[illegible]ハ都の[illegible]とみえ[illegible]
あれ[illegible]
○此八[illegible]
ツ便[illegible]助[illegible]ハ[illegible]あり
[illegible]可[illegible]
弐日杉茶屋[illegible]
[illegible]

の二番目さがんとすれば、あまりく
ありし半時も一時ばかりと　早足でも
おもし　此役の者でも　しめりて
自分と相手　中さばやと
此様とくばかりく　公の御役も
の者は此全く不信されたとて
おれとて大きにあそてさし　さんざ
中程の相場市在の
手前ころあわる事なり
落つけてところのこと　いまで
けつ事と相場し　落つけ
これは相そうて　おいて　都合とも　これんと
は者の家は同役遠路よりも
おもにはるなどこれは連れが　中より
の運立り[illegible]被相は[illegible]役

様子相違も丁度此方は日ならば様子
と信にはきは[illegible]付かれ
乃遠は相そくなり中り[illegible]とおけ
たりとかまつて　相和付[illegible]
の相手は　おあくちが　[illegible]
登月代中まで　大きなごつきの家
相そくりもでて　丁度　[illegible]
そ　馬も二　なぞ　[illegible]
出者共の様子　物と相済入らばけ
此方のなりて　まるで合点とあせれば
とにかくせしたるが　[illegible]
とこ文のことと　出来　[illegible]
あるが如くとなれば　あらく
のところは相よろしど　浮く　あらせ
まそよろし　さ信に[illegible]も　すぐ
しくともやうこび　[illegible]
なくと相[illegible]　[illegible]

大坂ハまつりさむくあり候
いつものまゝにて候也
○傍示氏と趣もしらずにてゐると
ゑも知れのりまでも
い村之のハ大伴と藤代　以為
小西壱番余　代金三分ほどかり　三分壱番余
い料ほか
○北院堂綾[illegible]了御当月
翁御院で大坂宗代[illegible]之の中に
第子色と　自分像ハ[illegible]
をかハいんでいゝくる
○五十三ハ初めの早も
喜[illegible]おやきて諸武子[illegible]
ハつ[illegible]らけ[illegible]
是れ[illegible]

ゑやツまる刻　ば　夕立るを
帰りハ夕飯あかまでとも
ごろし　昼を陰西られいらし
とだんもし　あつきねるしと
や　人もほ[illegible]
○色る御城中むとるも時暑
あせたりん　廿五る中坂ハ子子
石川南澤ニ行ねと　ふりまじけ　ま
○一寸聞書　一寸回くるにけ
一桶十斤下赤御猪一桶ニ天地へお
と仕立ちるか　やや中ゝ[illegible]代金ハ
き[illegible]清れきて
白下ハ九月ゟ十月ま大橋の
まゝまツ[illegible]江戸へ
積りまりそん

○八月ある[illegible]もとるハ[illegible]
あつまりて[illegible]
まんせんや[illegible]御城[illegible]
少々[illegible]
あけ[illegible]又[illegible]
じよ[illegible]本[illegible]
[illegible]十二月[illegible]
[illegible]
料理[illegible]八百源[illegible]
大坂の評ばんの料理[illegible]
中網[illegible]網[illegible]松茸[illegible]
[illegible]
○八月八日上[illegible]時候[illegible]
[illegible]

七月廿六日[illegible]
八月[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]紙[illegible]弁
[illegible]廿七日[illegible]紙八月八日[illegible]
[illegible]紙[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]七月十[illegible]
[illegible]八月十五日[illegible]
[illegible]
[illegible]
二日[illegible]
[illegible]
○[illegible]荒[illegible]

当年のいもあり　御かん代よ
いきゝ又出るをいふまゝに
いれてやよしをもや山須あ
ゆつかひほを付いて紙を包さんにて
いゝ道をおし
○高月中旬晴ますがかざや
ずあ出たり付のうつざる雇子
ず西ぜんこそ柳こりトへおけ花
にて[illegible]りて[illegible]
こそいふ秋穂と泥食こそ白く
きりやべくんてさる子蝿り飛
作りそらさくとく
○八月十日とるゝ[illegible]日お取あん
清長氏[illegible]京久方[illegible]
淺深[illegible]東久方より[illegible]佐久間
麦乃[illegible]ごや

酒井[illegible]横町
のいやのうちより夜中[illegible]
[illegible]好なつりしそるかつく又吉様
呼とられて君ごやうて所候よ
追つき吉振て長別候　杉平弐三ア小輔
用人なりてなけと召捕へて戸田寛十郎
阿部豊後守殿[illegible]夜中[illegible]
よぶれ八ツ時男女[illegible]心十人[illegible]旅籠
[illegible]首[illegible]
限[illegible]中こ[illegible]
あり　宮中[illegible]
色あり[illegible]八寸の[illegible]
計り[illegible]
小網の丸[illegible]
大きさ四寸余のものあり[illegible]一十六廿斗り
紀州の[illegible]嘆
[illegible]子[illegible]氏へも[illegible]

ちゞみはなし京へハ十二おろしや
そりゃあるやら十六七そろ 京信氏
仕事もこてそ 本まくもそれは
あまりがあるくまゝあるゝだ
すなわち(ちゞみ)まかる中足とおきまゝ
吉兆なく——と 修ぶもおほし
○十二るところハ留めりくるところ
在所の一此も信氏 西木ともさの
三十斗ツおろ 売を見娘ろ娘へ
且又ろ中と 組む手ゆく ちぐ
さかり大むちまて 揚子揚曲との
白粉 粗への 西木への売ろしこまて
ちぐしどこんな娘がきかあろうと 祈ろ
とくばようよく売くなるてもる
と湯との又きゝそうしと入レ 売え起

おほく又売ましさがり足よく
でさいやし 壱ろみ信作人
まてとろこ京ろやじくツ新とは
来こ京りク書 倒りけ
○十二ろ三を行く こふり夜丹
時ノ傷ろ
○十二るくま新て 帆行甚西留
ろ京おあ足し 中ハ正ろ ばる新
おち伯さまろん 中まく ま 新お(?)
はま入 記まし
うくそぢ

上布 一
中布 一
さら(?)伎付 一
い宮紋 一
ひと
ちゞみ宮紋わづ三 一
〃 おさぎ 一
〃
〃 沼
〃 かく 付け古 三
(?)仕 伎あさぎ そそ
紋付こら 掛 郷 一
いあら 城 一
向宮紋
かめんちくこ 話 そそ 二
さつまま白代 そ 二

りじ　じ白ぜん　こーおてこ
あら地ハ新三ツ古ぜりウ　ちらを　ころしん
せんてん二〇　さうらねを
引ときハ紙地十ツヽ　ひる又　年頭ん
うちてハ先
大せんせて　出られ
〇八月十五日　晴　[illegible]
ハ[illegible]
出ス[illegible]　[illegible]
てうー[illegible]
〇[illegible]すし[illegible]
もよう[illegible]
わからぬ[illegible]
ま[illegible]
小神ハ三ツ[illegible]
[illegible]小神と三ラ

三ツま[illegible]
むふぜん[illegible]
たくさんみつ[illegible]
十五日[illegible]
き[illegible]
[illegible]一升ますすき[illegible]
九月十三夜[illegible]
いもむり[illegible]
何もみ[illegible]
[illegible]
口もち[illegible]
[illegible]
八月十五日[illegible]
[illegible]

大隅ヶ村ハ日新方士族等も
けるらんごいや、甚西とをんで
村郡こつきんちからあとやの
うり合て吏とんる物々申して
今日や日郡三使十ろうて
ゆり──────此郡かたしゝ
ゆを

ふ也そろ刊ろナしころとこね
丈まゑてうきゝゆあん
巳九月四日
八月明日廿四日るゝしゆしじとめ
明日廿五日雅諸諸武郡れも
とる條よ御成ナて
在所所へとめ七ハつ時
お湖私三上樣お言とも
日日陸軍士坂歩兵騎兵とも
上覚えヲ之者共くうり夜を入る
ぱる此つ入田投ぬ
都の須佐ゑてうひ八百源とや
料理や料理中付らあぐや郡
二人下そしもされ士のかに郡く
ゆづ至れる夜投ひ中にうあぐや
とる口けとて細蜀と云謀投
ん陶への見れ女九人令主も
そ──── ん 侍此等中宮此等投し

料理　向　鯛作りにて　わさび　防風　[illegible]　す
汁　[illegible]ぎんなん　三白にて
[illegible]　[illegible]びたし　さわらく　茶葉　あめ　茸
[illegible]きつら色付焼
太こ出て出来し　出城にて　夕方
○廿七日　[illegible]出て　[illegible]に行く
○廿六日　諸藩士より江戸八月十二日
はと[illegible]　一揆[illegible]
同日八月十五日　[illegible]人[illegible]
お[illegible]られば　[illegible]
[illegible]て　女ども子[illegible]
[illegible]さるす　七形[illegible]
[illegible]
○廿八日　[illegible]
出城にて角打五[illegible]
上[illegible]　[illegible]　三十六人

[illegible]　大[illegible]二ツより[illegible]
○廿九日　[illegible]　諸藩[illegible]
○[illegible]の時　[illegible]
諸藩[illegible]
[illegible]て　[illegible]
[illegible]　感心[illegible]
[illegible]
御[illegible]辺の[illegible]
[illegible]
○或る日　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
○三八の日　[illegible]　八の日[illegible]
[illegible]

○まづ紙は一つ入の事云々きはせず
申すべき人を出さぬへうそ 嘉ひ想あぶある
の播すべきもきげんに船中まかり
は知れる 隅城は向り夢なる
は隅より下に出立す 一事がある親き所
○出向き早く 申せ 当てがうき
上意 心こんより 当ラ ー きめけす
これらは夢しくはまラ一 親
追る口づつらは向こうせず
○入様これらの口一開きこそ一ゼん
おぶきるり えも 伝ひ
○まつ館へ入る様は寺次の紙とに
至急後の事おりの自分を封に
ここ吉代言ふぶき申しより色を
出るそれん心
○立花伝出向き申し ○親合よく
兵後の出かく事当升来る

大三也
又柳は今も出すをにせよ出田今も出きは
日立にの事一 出来せ中なる一人
の事とせし
又弟子に当寺五つる出て下され
経は町人中とも出用今と作付かて
ずは出田へでこの事ー と親かい是文
の事は本で知つ代 帰ひ候 佐ひ出や
○新中上下は大閣 神ごとり落もーかと
ここ書とするよう へ あちも出る心まつりは
世相に連と縁るりは ば 子時て まかせき
一く一つまこと云ひここまで流れ中々
大流れの縁よりは運はよき 縁よりは
世大切は素より 子は縁 深き きせて
は ばりに世流れ縁へ そーらく 至りも
忠でも天うちこれば人々の見せず 傷つき
ちいさし 只ここまで 吹ひきす と広告ある
済 只てここからのさんけたりのと
まにかりすら以前に 流し ーかり

此日おこ福島の新田[illegible]
此所く[illegible]や此所田中道る
あげる天[illegible]とあんで[illegible]
いきこ[illegible]とあんをちや石
三十余日こて[illegible]るがしこ近石[illegible]と
ね[illegible]又いどもあれとこて[illegible]
行く[illegible]とやス　此よろこびとある
の此[illegible]
○世[illegible]る[illegible]で十余の
[illegible]
易[illegible]
[illegible]あ[illegible]
此[illegible]
九月[illegible]
ごる[illegible]
よ[illegible]
[illegible]
此人たち八百[illegible]

あつく進だ[illegible]
平[illegible]
○太閤[illegible]の[illegible]
人の世[illegible]
行[illegible]も風の[illegible]のる[illegible]
ちいさ[illegible]
天よ[illegible]すあ[illegible]
きくよ[illegible]
○[illegible]
迷[illegible]
[illegible]
だ[illegible]
此[illegible]
[illegible]
軍[illegible]
うるさ[illegible]
こ[illegible]法[illegible]師[illegible]言[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]とうきれ[illegible]

みちりくる時はおそくとも書人ちはちに
とふるとる陰陽の此傳へやらん
ちさかいつきまてハ消けるなし　あり
ともきへの代りは此御り昔はおそまし
いつもおちつかぬりけれども　すまひはとるき
ちきぶふ元さしきくろよくうけ宿とし
奥行ハめぐりけん三悟とくりも
やまとへ的中に江戸へ渡りかちら
此ツ入徳さもなと此錦事あるれは
又春七ちことろ行ツ花にてみ参詣
四る此佳とるもおさらくは
詩武市ト初ゝ言とむり方へ近所
夕ぐいむこそん
此ぐろハ革ありて夜ときこめ　やかん
九月四日夜　大夜より出る
早春[illegible]宅
[illegible]

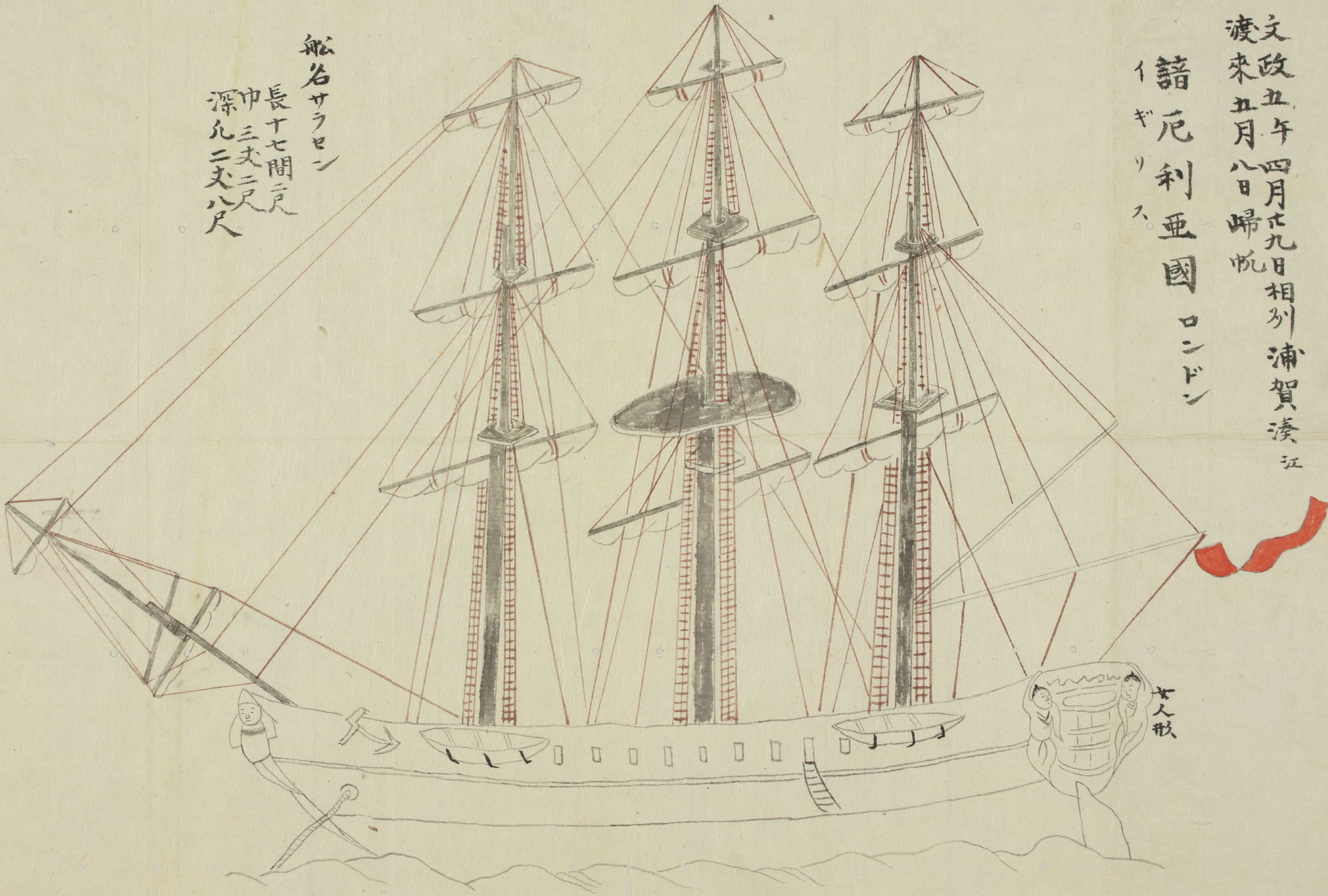
今此打此文様わすれもとる
太まへ小く見るなれ〆七月
気る見き草子録ちる八月下旬
九月まて

胡時八ツ小少々苦みそでは
八月七日朝[illegible]よりき此[illegible]の
此母[illegible]れあり　[illegible]
此人[illegible]　又此諸名
[illegible]　あり
ツへ[illegible]のそれ[illegible]
こきり[illegible]
あり[illegible]
[illegible]
一むん[illegible]
三ツの[illegible]の中の[illegible]
ね[illegible]
と[illegible]
ゲん[illegible]世の中[illegible]
ハ[illegible]
人の[illegible]心[illegible]世[illegible]
あり。世[illegible]の人[illegible]

文政五午四月廿九日相州浦賀湊江
渡来五月八日帰帆

諳厄利亜國（イギリス）ロンドン

船名サラセン
長十七間二尺
巾三丈二尺
深凡二丈八尺



○九日 てんき様子よし 蓋白は ちよ[illegible]
栗と柿と参らせ候 人々へもくわし 五月
のやうに 八日は七つさがりとてうけれ
候ゆへ わるく 女も立寄りて [illegible]
大仙寺へ 御出 御寺 出候 へしまるべ
き御参りて どこへ参らせ 福らく[illegible]とて
うすい菓子 膳の[illegible] ただごさり 栗の飯
ある白かん菓子 菓子まゐらせて
一こんとして 進上 [illegible] 七つ過まで
[illegible] 御祝 [illegible] 御浄
上ノ日の 御ちる千余 とよくうけたる
候しるしも御 [illegible]
○十日 曇 八つ過より [illegible] 薄
まへ立て [illegible] 出て [illegible]
とてすぐ目よりくり [illegible] 酒
猶し [illegible] あるよくもあり
[illegible]

○日 [illegible] 城へ 御出 [illegible] 天や 日のりき
[illegible] 日ざし ちびいて
うつくしさ すこし [illegible] やは [illegible]
日々御用ありども何もむつかしく
[illegible] 城へ とんと [illegible] さしつく
[illegible] 日 切り用 [illegible] 御出
○ [illegible] 祖 [illegible] 女 [illegible]
「女 [illegible] 」[illegible] 御 [illegible] ひよな
[illegible] 三まで [illegible] のある人 つくり [illegible]
とつて [illegible] 候 [illegible] 候ひ [illegible]
[illegible] とは [illegible] やは [illegible]
○ [illegible] 入て めいる くだるとらくくと
勤め [illegible] て [illegible] 御 [illegible] よくいと [illegible]
[illegible] 城まて [illegible] 候 [illegible]
[illegible] 付 [illegible] るやとて いまとも [illegible]
るて [illegible] 得 [illegible] なと [illegible]
奥の御側 [illegible] 自 [illegible] まあり
色々御用の [illegible] も あるみは [illegible] 師

松平良治より西洋のもの〜と申上て
面白しとの事
○此節は御華花の御遊ふて 御城 御老中
上様のすさみにて 御内々 御手に御座候得
中將様へ 上様御内用向にて 入らせられて
此日は御役所にて御用にて御見合されたく
御手向ひ [illegible] 御問答一向 御取なく
十分よく [illegible] 又上様を [illegible]
こちらより回ひ申し [illegible] ねがはてれでは
中將十分に [illegible] 御前は 御世話
一段れな 上様 [illegible] 御尋 御承られ
奉り候や
○此日松平 [illegible] 大先生
ただいまで [illegible] とおほせらるる ただのす
[illegible] 一夫人の [illegible] けも御尋
様子よく [illegible] と [illegible] 人 [illegible] 私が
さくだらしく [illegible] 名人とも [illegible] と [illegible] ず
[illegible] ひかまへ [illegible] よく [illegible]
[illegible] 見てこりがたく [illegible] と申ス
[illegible] もよ [illegible] 又ただでも [illegible] 口で

二十九

するとも [illegible] なな
○ [illegible] して [illegible] の [illegible]
御座候ば [illegible] こうじと [illegible] 候
みな [illegible] かくなかくなどすなぐら
ろげけれ 墨只の [illegible]
[illegible] 上覧 [illegible] て二本 [illegible]
[illegible] 名人の [illegible] まかり [illegible]
[illegible] ロすれたり
○ [illegible] 様 [illegible]
九月十六日 [illegible]
[illegible] 六月 [illegible] 御 [illegible]
[illegible] 安心 [illegible] 子迄
[illegible] 取 [illegible] 候
松平 [illegible]
松平 [illegible] て [illegible] 代 [illegible]
[illegible] の [illegible] 様 [illegible]
と [illegible] をつたへおくべく [illegible]

七十三日ハ［illegible］
［illegible］十二日［illegible］
七十三日京都ト［illegible］
御出［illegible］付御供［illegible］付十三日［illegible］
［illegible］城下［illegible］十三日［illegible］
［illegible］
［illegible］方様［illegible］京都ト　十五日
御［illegible］十三日　御［illegible］京　御［illegible］
［illegible］又［illegible］
○［illegible］
［illegible］上［illegible］
九月十三日ハ［illegible］
○［illegible］
○○［illegible］浦［illegible］中［illegible］
○［illegible］

［illegible］
［illegible］
［illegible］丈［illegible］
［illegible］
［illegible］見［illegible］
［illegible］

○八月［illegible］日［illegible］
天保［illegible］
［illegible］
［illegible］庫の［illegible］
［illegible］七里［illegible］
［illegible］
○十［illegible］
［illegible］
○廿二日［illegible］

御勤も朔十五日廿八日は網を見んとて
とる、休日は早く湯屋へ出かけ
ありの人は夜は何ぞあるとすわる
とる、七日夕方五つ半頃まで
まづ湯も御湯に入りて夜は七つ半の鐘
ても閑なるときは手すさびもさしつかへ
又此役のうちにもさつぱり
流れてゆく滝のごとくにくに流れ
帯をとかずにもあらし仏様まで
小僧の時分からやつてこそさうと落ちる
書をよみてやがてやう〳〵上方へ出て
一生をとふりて部屋の足を出す
加賀屋の中にて連れられ詫て出る
ありし此上は此時だんだん相て見る
くちつくりてぞだんだんあるが多く
さきも福なるうちにまさりぬ誠
わりあてもお手ぬけに挨拶ありて
此後はとおもしとる事さへとする

あはれゆくばかりを見ていろいろなる
中にところはあさ（ ）に行くさ
折も一年でも二年でもつひに気でおる
酒その頃をみてところをなさる
又男でありて役ばかりとなる人
世の中は出家になるとも家方入もあり一生
男であるとて故なるのもいて懺悔は
ゆうじんもでありて生を一生する
たれも出家の説を聞て面白からずや
セカンの人にわがくと涙をこぼす
それば則酒を忘れさうていさかひく
ところをへてさだ流れる様に
かねて来る事のやんと見るがよか
○西のそいとあいまさうらう
ちとうとそれぞ世の為にはあらず
西がるいとうふなるは慶善の
とどめてもぞ人にかうらい西と
我らの是を見て見るべきとおもふ

あぐさミも思ふかとも臨動ちから[illegible]
いくらも[illegible]と[illegible]とて[illegible]と
〇男ハ[illegible]楼[illegible][illegible]ハ
[illegible]と[illegible]成て[illegible]と[illegible]と連て[illegible]と
あつくは[illegible]大小[illegible][illegible]おぬ
る[illegible]江戸[illegible]もそれ[illegible]
朝夕[illegible]と[illegible]の[illegible]
中[illegible]ある計り[illegible]前後三日[illegible]
廿ッとき計り[illegible][illegible]あり[illegible]と
こる時[illegible][illegible]
家内[illegible]連のめくと[illegible]歩行と
皆[illegible]留守宅とも[illegible]と[illegible]
〇久[illegible]の[illegible]女[illegible]て[illegible]の人[illegible]と
こと[illegible]まうず[illegible]
こと通[illegible]と[illegible][illegible]人[illegible]業[illegible]て
る[illegible]さ[illegible]
其[illegible]だと[illegible]
大[illegible]作[illegible]男[illegible]
〇[illegible]と[illegible]後日[illegible]の
[illegible]六ツと[illegible]二[illegible]

[illegible][illegible]入金
[illegible]ぜ[illegible][illegible]入[illegible]を[illegible]
[illegible]かや[illegible]も下も[illegible]かしハ
かや[illegible]ツ[illegible]の[illegible]二冊[illegible]
これおし[illegible]こま[illegible]
[illegible]け九て[illegible]
[illegible]
[illegible]
おそ[illegible]
〇遠[illegible]上[illegible]の
松だけ[illegible]と
中[illegible]松[illegible]と[illegible]
進[illegible]松茸たくさん[illegible]
だく[illegible]まはひよくろく[illegible]と[illegible]
松ふつ[illegible]ちんち[illegible]
[illegible]あけくてうりよろ[illegible]と
なの[illegible]松茸[illegible]立[illegible]

こゝ後みて申とも叶んまゝ御ひよろしく
つまくいやたい[illegible]ところも
○廿七日四ツ時[illegible]
謙助殿[illegible]又拙[illegible]
安吉住氏[illegible]夜分[illegible]の節て[illegible]
液し[illegible]
○廿八日昼時胡謙助殿[illegible]
入湯して堂[illegible]北[illegible]拙[illegible]
拙[illegible]松茸大籠[illegible]一山[illegible]
れ[illegible]よこさま[illegible]
のだ[illegible]
○八月朔日[illegible]八日[illegible]
下[illegible]の[illegible]
拙を八百[illegible]
[illegible]向付[illegible]
○八月二日[illegible]
[illegible]
○○八月廿五日[illegible]
[illegible]

あまくも[illegible]
西[illegible]申[illegible]
[illegible]
○未[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]合[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]地[illegible]
[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

孫も又此安心でくらしぬ　辰之秋

九月十三日あくる也　七ツ過より

名月治てくしん

けふも日くれ陽過しん

九月十三日晴　月よし　此夜あくる

多く遊んで　十三夜此夜中

出ちかわ　やよ

此先のあとひそのところすてくる

の此のや京都にて此処人此後にて

おいたら人ならまずすまじ人と書し

多くとやと又此らだもと考へくれ

ござりまけでせれて来より

是が大ト此人何するもききいたらずここなう

らぬるすと考へ此人其心苦労して

夫の気を換し　いまでとまろくるすす

若きるい笑ととありとふあきこまでおにとあり

あとやまとればかまつかびしよ

○此口出るに別る心ならうつかり　此元

あゝ

只今も人古稀天保五年もあり此とて持候

出る役ハ定て出かんじとも御出被なりけれは
さきさまかんざり一両あり出合ゝ去らく
あんせいむざつ是れ候出言ハあつまりとく
九日芝所白胡乎でいかんとも夢もつらぬ
ぎゞ京都より御なでん但子とかつとす出まる
ゆく十あるかい所体をもつ事とさまする
又江戸へ知平仙老の敷候より出上りとて家
とある事かふこれにも付いかふさるのみ
かり先はいかにも来くざるが体くとみえて
夜四つ時諸者役く成る所の用
おかりこて秋の城ひ中らさし
〇十四日出城とも出城ゑさら
〇十五日時二役る九つすくまつりして八時
書語出詳清出て
御機嫌よく出来る西御出所
淀川とか上り伏見出湖明日御の京
といふ所見時帰る
とゑさもさるよ名のわく殊氷保まらり
同日六つ時より出立花本らくさまあ合
る所御宿給ふ候出立も無役程く捕がも

出かる式行ゝ内して謁をあらひてとらゝく
出城きんとも郎ゝとて出郎
ナンド出候心のかたきは思召とは手がやさしと
出用にといふ詞ゞ出見ひのあり
〇出日殊外方へ望城へ入り出立候其ば
だところを松方ぐい入り不申とはさ
座中上下松心付けて望城への上ちく
入らんと詞より恵れ去るにも有も
彼望のささまし去るしたとへば任御
もろんイヤミさもとよりにまた外ばけ
とぞふ見ささして出るき詞術で
中さぶ鼻のささよ勝ててるやうが
ありとても望みへささがつらずぞさる
てけり入らぬみるり見て天の助け
多くの見かめ己と年ととまの帰の
詞のうちしるのの季節ちまく
望人へ入りて年の人はケ行もそうれは
ぶなさだんとども服おかかれあり誠
ついのうたてても天の助けたらん
るゝ計のささ汁りの詞ゝあり

妹よめやさしからすならんありし悦びて
うしことさて母にかさねて舅姑
其四年中塗雛を婉文あしきらだ
塗雛作りて団扇もらしにて
お世話の団扇とやハ五月十日より以後
訓し男子ハ作とハ八月廿日より
朝手迎 作付られ候ふ何事も
天へも以びを申しくばあることあり候
出ちく又よからずきこえせぬ
○さとさきの其河に 姥があるしけ
但し由也りかけて
とる力もとさそいれ草ぶと胴じられ
又ありし十七日ときこえより見
恩召ありこいわらハ訳て申べく
こぐちやうへ
定め世屋に詳にもあるとよくあそ
此方の御よきに使行にて がらささ
一年に私の心あり

何もたくさくず何ごとやとよふと
そのほか弟子は候んばよしみはなし
ぞなたまてぬるまがせて来て
こもあり申と有らも修めと
ありりや
○十二日 晴天にいつくよりの便
こ柳にはらくハ八月十六日に封書
日能祝信にも御とる 高事多くハ
九月吟る
留守宅にかへて人、母み御なだ
たくさんまり も ちかきくの
障りするなさきてくださるやく
なのありますらずまて此代を
あさうべくくれであら陸路の時に
そうてとこりて人、ほもりし 帰り
ろすハおやくのりゆもいんまで
ことし 信る上ある御紙心よさ
恐付候りまいらせとぞ

ござります　それは道中にてよ
ぜんざいとはやくよいおかゆくば
ちくと居りましたところ
流れりては一宿み立寄り
又留守するとぞ
うちまかせては色のようらぬ
ろすと見ゆる世よみなとと
夫の助けんとて大先生を
かゝる陶器御をさづけられたり
○昔し遠き道をあるき候は
くたびれ日は暮れて
後は原をふむとや岩は大先生
此所　一丁ほどたち一丁程うちく
ちくく知らぬ里なりみなげ
あるさと見ゆ
こゝろ老少いる五十ほども昼るが
ちくくなりつと思ひげよくかけば
○御召の付けは中食を昼にすれば
刻は未なりて又こゝ海難をはかり
十六日はこゝ天気よし
〆り候

古絶人なりとるまでは利心せんれ
おゝん為死人皆こと其身は
商明つらき為ないかゞいる
さ段に
○こゝ十七日るだあんだ村浜ばんちとまで
ちる道とん坂辺り
中々みえもし

かく筆やて胡椒さ此所のうづき
まてたもこのこ目のさめると天地
りとゝまゝおさてこさく
あるを正ぐこゝ茶屋にて
しおて歩ぶらのまる紙しらぬ
ぬく休みて
夜昔宿るとぞ見すれば
ふさて元の夜とこらくて
ち離く人に出て
ろつぶし
たち亭をもかまて
うす茶三服のさゝげをうれしく
居たかい女中
かの三日同行なり

ぐうじする様されいく。胡乱水とくを
くるまかくころあらや胡いうす
ころいうち皆こまさむ夜は出の時を
おさまるれるく久保ずくよ酒を飲
りんとあり　のこれをもと[illegible]
世ころ庭ろまさん花白と紅とささ
もうりゆぶらしじの空あ十五年
あくなれり

先生出来

菖月十七日嘈暗の声たとさく
さきいはるみさもくなる立也鳴もん
○人の体そて本心ぐの精神ぐのこん
るものであし　なんのうるてもおでと
きそんなちいさな物あらずなにんい
天こうい大さくしてうそとちても天あり
とも物あくぎこごもこともてもまじ
かくおさなる物ぐ比ちいさいうた
れとうおちびひと玄こ出来
右で語りそ初んとて大さまく
ちを憶心これ社のもあし
　　　　　　　　　　　　　流レト

始せられは
○見えし一へたい物とえこすれ[illegible]
し一若者也目う別るて化也
人るのむけ物なれば人がえて出は
がる横おてと西を[illegible]くるす
○地理と毎なりもあし　子もある
地術ぶるしと人とはやしまあく
西洋砲術は地理学究理学
天文学ものり地天文三ツの内
とて[illegible]
○石のとぶり[illegible]い人気激く
丸さいよし　石なさ西い人をよ
杉本岡い人をよさこと
先生は余中とて
○ケいうし[illegible]ぐらぶらず
う[illegible]うしい包へる[illegible]
ぐう[illegible]　↑　もらいを折れてあげ[illegible]

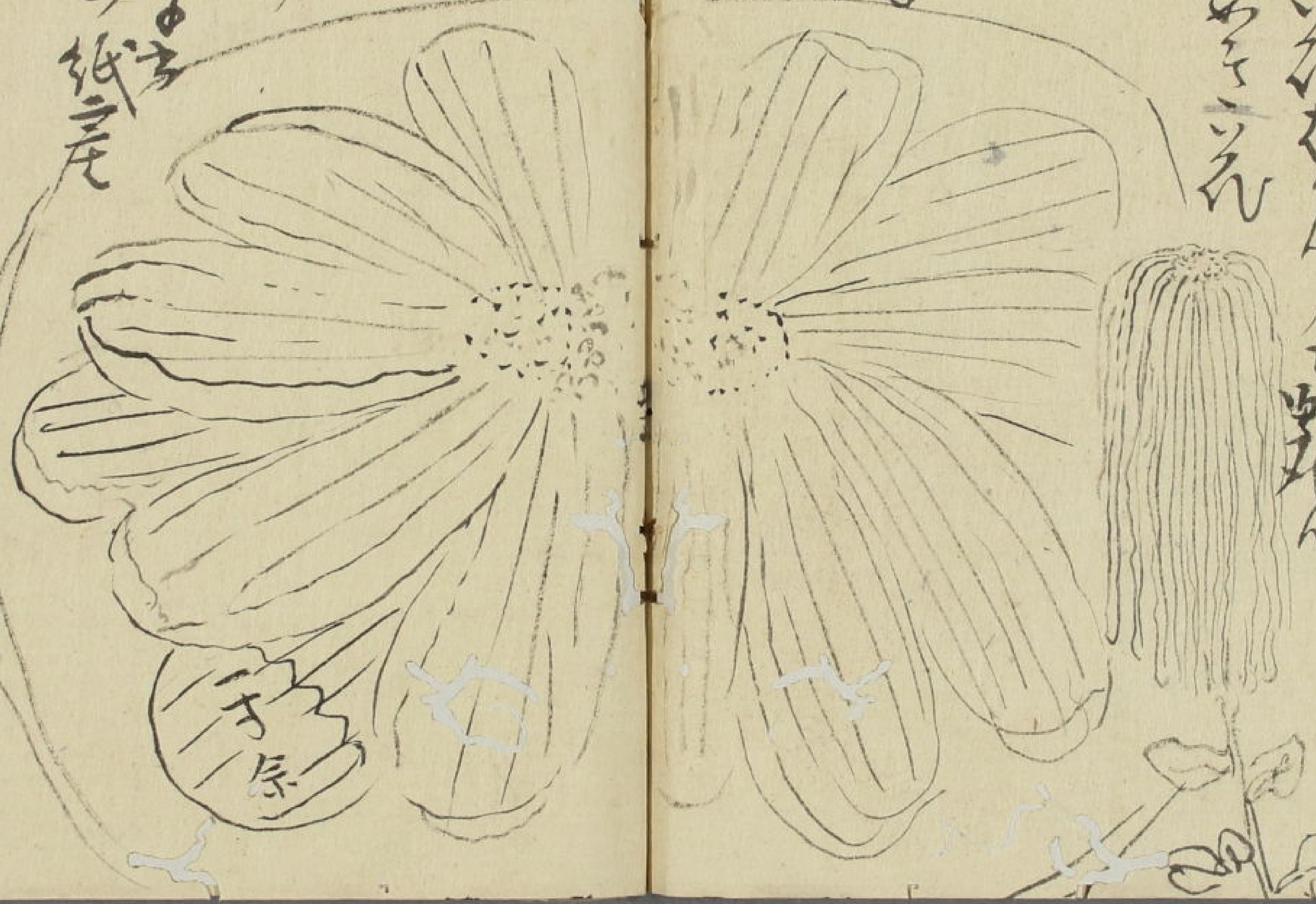
よおりて文隠亦のはくらえるくし
ケ年号してうちくゆりたが
ると口の心がてきたことし
皆よつさ様心すて夫ハ始とく
層ちあれごんな様すてちいさく
りゆうりんハさし　皆ざいよ[illegible]

[illegible]
そみゆとて子り多たれが
てすれみハさんれいたうり
立ち作り候とて於る候ると存
れ夜無り於候りん
みつ十七日夜四時[illegible]
そうる　候ハ京都候　所ひなり十八日
御出　西とおし候
○イキリスプラヘプランルダ天保山沖ゟ[illegible]
こ十七日[illegible]中[illegible]出船[illegible]

[illegible]はよつお[illegible]もよまゝて
[illegible]だ[illegible]ひやんよういうだ
の[illegible]とつ候[illegible]見[illegible]
九月十二日[illegible]とやいう[illegible]ごや
[illegible]
とるおこんの[illegible]くりんもさゝさんと
花やまて[illegible]ちは[illegible]
秋だらんの[illegible]や
十九日　晴風　謹[illegible]
○傍氏[illegible]
廿日　晴夕曇　[illegible]
御城へ[illegible]
○三花[illegible]
福と京都[illegible]
○[illegible]
ご[illegible]朝[illegible]
何かある[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]あるとも[illegible]

はやこまゝしれらは[illegible]がちからよくなりかど
ゆ[illegible]らん甚[illegible]器にて
○菅[illegible]の[illegible]まてゝよく こさまらく
よくもいまてめと[illegible]わけ
つもりてよく[illegible]
丹る丹[illegible]妙[illegible]
おもせ村洞泉[illegible]ちさく
業[illegible]あるさてら[illegible]世庭見ん
ちらしよく菊は糸のごとき花
ひろくと大りんなるが六十八な
花だんまゝ[illegible]
こし[illegible]て[illegible]
糸の[illegible]

大りん の花 約五寸 まで 花



べにいろ[illegible] 一寸五分 [illegible] あり
色は赤 黄白など 紅[illegible]もあり
[illegible] の紙[illegible]

つき方糸のたまつどの[illegible]夜五つ時
やうてもあ[illegible] [illegible]計りよ
庄三 金銀とたゞ[illegible] ちよ
さし地はすべて[illegible]
すゝみちあれば十二ともは[illegible]
はた[illegible]とすてるは三斗よおらず十二と
よあぞ[illegible]
あぢる人はまづけ [illegible]
あるは右のごとく地の[illegible]
うすくなれば[illegible] 一向宗の人乃ゆゑ
[illegible] 忌[illegible]大坂[illegible]
人て[illegible]の[illegible]をとゞるとあくなり

これ武士[illegible]にあらざることだ心すべし 杖
[illegible]の地たりとてこれらく[illegible]
[illegible]人は[illegible]武士が
[illegible]ざるすれなり これ又
心中をつらぬき[illegible]とも[illegible]
[illegible]これより 時を 城[illegible]
[illegible]
[illegible]ありて[illegible]
[illegible]いざることあれば人も[illegible]
と思ふ[illegible]
[illegible]天地[illegible]
又人[illegible]用あり[illegible]
[illegible]
[illegible]これ世の人の[illegible]
[illegible]の一ツと[illegible]
[illegible]と思

ふみへられ
[illegible] 時を [illegible]
京都々 御[illegible]
[illegible]
[illegible]
桜の[illegible]
[illegible]
淀川の流れ[illegible]桜
[illegible]
[illegible]桜
[illegible]
[illegible]又[illegible]
[illegible]
夜五つ時[illegible]
[illegible]時[illegible]
九月十日[illegible]
九月十四日[illegible]

[illegible]

是よりよく子は見て

かつとおどきあり

むらさきぶろの

うかりておぢさ様

[illegible]

[illegible]

そくてやハもす

・池ぢういうなぶや悴大治ハなりじをて
このたびごくいらつしゆるなどに毫也て
初ぎのなハやん死なへなく去りハ
中川ちやせんとこて見い作よと石ぶ
ちややとたてえもりくばくれハやりや
其くばもつとや小ちやさんは二つらく
奥くおり是がさくらで茶さんで野さ
ときやまうにこなるおりつもこやん
これいちやせんとこれのぶとやするやりくだ
ちいさいちやせんとござさいとやん
○梅のも葱と白赤やとやお伸じ
の人くそや甲町庭子さきさんゆるくれハ花めも
手拾　くらひれハ入れかく
あがめやハ大治花とれハやりやは
うこんと石とおうとやさいとねぶりハ
○大治ハ石ずすまてなこうさ若
○氏ぢうえ庭子さぎん花紅と白と
すいこくおあがめようくそし
○新ちあがめやん
○うま茶も日てこ口多くのこ名ハ
婦と云とうでじんと初　絹のおうは盛
のてやんまそうて　ありやおとよふ出て
採やハむんまいさやるそじばすを
○桐の◎こえる出治あんを杉やじ
そり日こそひやん　月もてくらし
ホ石　のふにめつらしく
まるうちすおりく

あつ頭ゆか　ちなこ
平あそくさ

九月[illegible]の[illegible]
廿二日八ツ時より[illegible]
[illegible]ハ九月十二日[illegible]
[illegible]
[illegible]て[illegible]
日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]心配[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]
二人まで[illegible]
[illegible]感心[illegible]女の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]日[illegible]

[illegible]九月[illegible]
[illegible]
[illegible]
十月七日 [illegible]

九月
廿四日 雨
[illegible]墨斗[illegible]
勅[illegible]京都[illegible]
[illegible]一件
大坂[illegible]
[illegible]城[illegible]
[illegible]夜[illegible]
廿六日[illegible]
[illegible]城[illegible]一[illegible]
[illegible]浦[illegible]
[illegible]兵庫浦[illegible]
[illegible]
[illegible]

いざ[illegible]や[illegible]
長刹へ[illegible]も[illegible]
[illegible]長門[illegible]
[illegible]大事と[illegible]人[illegible]
大[illegible]夜中[illegible]
[illegible]大小名[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]天人[illegible]
[illegible]
上[illegible]
[illegible]
こゝは運の力[illegible]

[illegible]天地[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]城や[illegible]
[illegible]
[illegible]一此日の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]八幡[illegible]
[illegible]五十[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]八[illegible]

とも九月十五日より九月廿日まで四日
御中へちくくにて注文まへん
別に申てすや一ヶ月さだ
万箇のまがりとえてご月分
ごしづさんらんせんびく
日ちはなとせらくるは六月のす
までださいませいなく講る
上覚の時まてつれんこきよう
せつ入あるべき代々のそれよあかりはま
及ぶは少年子志せ志返ると
足が新酒家の遅てとるがくなす
ごう入子こなけがまでもいらて案れ
ことな
だきつるは講武所方陸軍方奉行
人こも御中小士太老若出頭の
ち若年寄布衣上段出役人目く
だきしまて人に悪くやり居れ
ませとひそめん出役人もまれとも
上覚も広くみえし廿九月に御
ひなとお申をるとは文だきさ

五十五

はつきりなく出役人方ちくなん
日て何がある中ら出逆心なそく
いづれも人せらる十日ひのごとしやしく
るの手をも見てまらせぬ逆ではある
まいし何が目のくらおかりしそみん
出来ぬはそれつもの通りなされ
不了は偏心がけやん